

LVS構成機器

冷凍倉庫内でも対応
(Wi-Fi通信時のみ)

ドライブレコーダーとの
連携が可能
(常温のみ)



LVS機能一覧

主な機能	概要
標準機能	
作業員キー認証	20名まで登録可能(オプションのRFID装着時は200名)
稼働情報	稼働時間(分)、走行時間(分)、荷役時間(分)、走行距離(km)
危険運転情報	急加速(回)、急減速(回)、荷重オーバー(回)※荷重計装着車のみ
レポート機能	日報、月報印刷(CSV出力可)
バッテリー充電管理	バッテリー車のみ(一部車種除く)
燃費管理	エンジン車のみ
RFID認証	作業員カード認証(バッテリー車は、スタータ連動)
オプション	
ドライブレコーダー機能	危険運転情報と連動し、動画記録 屋外運用時のみ危険運転箇所のMAP表示

- 画面デザインは開発中につき変更する場合があります。
- 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- このカタログの内容は2018年11月現在のものです。
- 京都工場並びに滋賀工場、安土工場はISO9001およびISO14001の認証を取得しています。

1t 技能講習
修了証
が必要です!

● 最大荷重の1t以上のフォークリフトの場合「フォークリフト運転技能講習」を修了した方に限ります。
● 最大荷重の1t未満のフォークリフトの場合「フォークリフト運転技能講習」を修了、または専業主の行う「特別教育」を受講した方を対象とします。
● 詳細は担当販売店にお問い合わせください。

Logisnext

三菱ロジスネクスト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2-1-1 TEL.075-956-8688

www.logisnext.com

販売店

15000/1811(MP)90S190-1

ニチユ 物流システム

LVS

フォークリフト
稼働管理システム



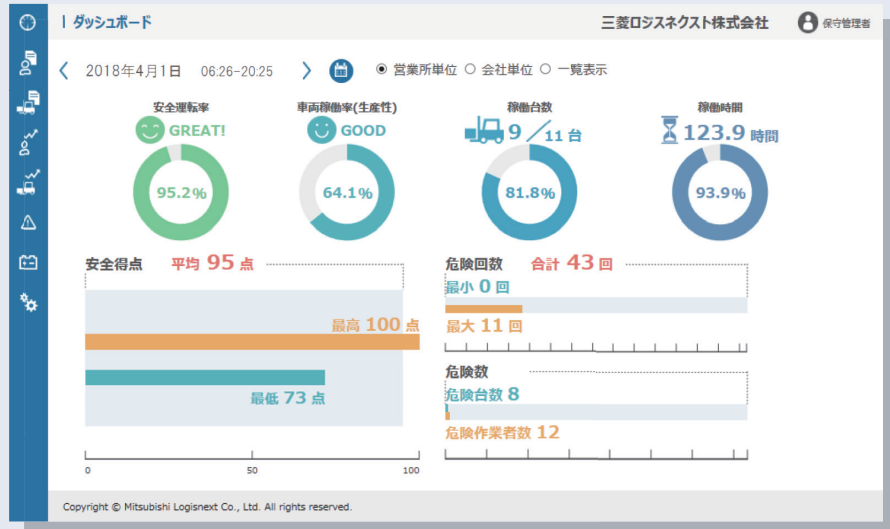
見えない情報を数値化し、物流現場の実態を見える化 お客様の物流現場改善をサポートします。

LVS(Logistics Vehicle Support)とは、フォークリフトに専用の通信機器を取り付けることで、各拠点で保有している車両ごとの走行距離や荷役実績データをクラウドサーバー上で保存、管理することができるシステムです。目には見えない情報を数値化することで各車両、各拠点の稼働状況を把握し、その情報を元に物流現場改善へ繋げることができます。

LVSは経営者の味方です。

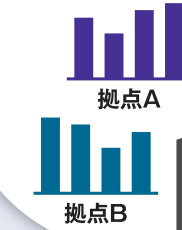
取得データ一覧

- フォークリフト別稼働状況一覧
- 運転者別稼働状況一覧
- フォークリフト別日報月報
- 運転者別日報月報
- 危険操作状況一覧
- バッテリー状況一覧



LVS
サーバー

拠点ごとの稼働状況・課題を把握



管理部門

拠点B



改善指導

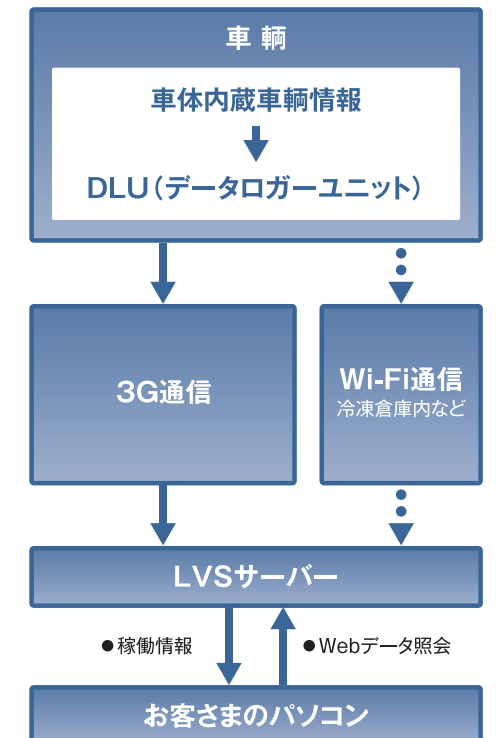
拠点A

車両稼働率



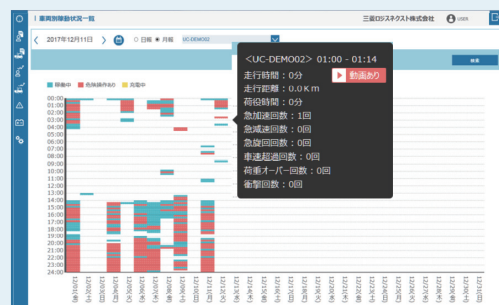
データの流れ

車両に取り付けられたDLU(データロガーユニット)が車体内より稼働情報を取得し、3G回線またはWi-Fiを使用してクラウドサーバーにデータを送信します。クラウドサーバーに送られたデータは、お客様のパソコンからいつでも閲覧することができます。



生産性の向上

- 車両の稼働時間や走行距離のデータから、車両の待ち時間やムダを把握し、拠点ごとに適正な車両台数を把握することができます。
- ICカードで作業者認証を行うことで、作業者ごとの稼働情報を把握することができます。



車両別稼働状況一覧表示画面

安全性の向上

- 危険運転回数をカウントし運転技量を把握することで、安全運転の啓蒙・指導を行うことができます。
- ドライブレコーダーと連携させることで事故発生前後の動画を記録し、万が一の事故発生時の原因究明に役立てることができます。
※ドライブレコーダーはオプションです。



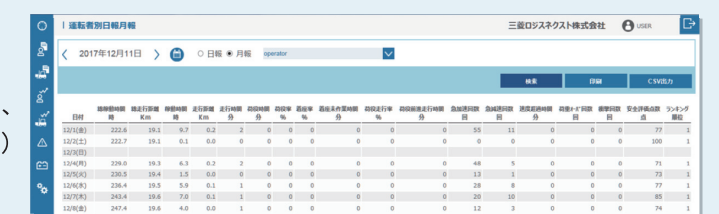
運転車別稼働情報一覧表示画面 危険操作箇所MAP

メンテナンス性の向上

- 稼働情報から使用頻度の高い車両に対して予防的な保守点検を実施することで、故障率の低減に貢献します。
- 各車両のバッテリー状態や充電運用方法を把握することで、適切なバッテリー管理を行うことができます。(一部車種除く)

Web照会機能

- Web照会機能により、自拠点(事業所)の実績データや他拠点の実績データを閲覧、比較・分析することで現場改善に繋げることができます。
- 稼働時間、走行距離、危険運転記録などの稼働実績に関するレポート(日報・月報)を作成し、CSVで出力することができます。



運転者別日報月報画面



車両別日報月報画面